

令和5年度 学校評価アンケート結果:保護者(平均)

愛媛県立みなら特別支援学校 学校評価委員会

No	領域	項目	評価項目	小学部	中学部	高等部	訪問教育	R5全体	R4全体
1	学習指導	教材・教具の実用性を高める	教員は、タブレット端末等のICT機器を活用する知識・技能を持ち、それらを有効に活用して、視覚的に分かりやすい授業を行っている。	4.3	4.4	4.1	4.9	4.3	4.2
2		各教科の指導を充実させる	教員は、授業の工夫や言葉掛けにより、児童生徒が「できた。」と感じることができる、魅力ある授業づくりを行っている。	4.6	4.5	4.1	4.9	4.4	4.4
3	児童生徒指導	基本的生活習慣の確立	教員は、児童生徒や保護者の願いを把握し、保護者との教職員と連携して児童生徒の発達の段階等に応じた基本的生活習慣(挨拶、身だしなみ、言葉遣い等)を育成している。	4.6	4.5	4.1	4.8	4.4	4.4
4		学校の生活実態	教員は、集団構成や活動の場を工夫しながら、児童生徒一人一人の具体的な目標を明確にするとともに、各種行事等の事前・事後指導の充実に努め、達成感を得られるように配慮している。	4.6	4.5	4.2	4.7	4.4	4.4
5	進路指導	進路指導の充実	教員は、面談や連絡帳でのやり取り等の中で児童生徒の卒業後の姿を共有し、必要な力を養うとともに保護者と相談し、進路に関する情報の提供や提案をしたりしている。	4.6	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2
6		キャリア教育の推進	教員は、児童生徒が自分の役割を果たすように支援をしたり、職業的・社会的自立に必要な力、働くことの大切さ、興味・関心の拡大を促したりしている。	4.3	4.3	4.1	4.2	4.2	4.3
7	安全教育	学校安全の充実	教員は、防災学習や不審者対応教室などを通して、児童生徒が、災害や事故から自分の命を守る手段や方法を具体的に教え、もしものときに行動できる態度を育成している。	4.4	4.4	4.2	3.6	4.3	4.3
8		安全な教育環境の整備	教員は、児童生徒が安全かつ安心して学習活動に取り組める教育環境の整備や、感染症等の保健・衛生対応に努めている。	4.5	4.4	4.2	4.8	4.4	4.4
9	教育相談体制	人権・同和教育の充実	教員は、児童生徒と接するときに児童生徒の人権を意識して関わり、わずかな変化やサインをキャッチしようとしている。	4.5	4.4	4.0	4.8	4.3	4.3
10		個別教育計画の活用	教員は、児童生徒や保護者が悩みや不安を打ち明けやすいよう気を配り、対応する場合はチームで取り組んでいる。	4.5	4.4	4.0	4.8	4.3	4.2
11		センター的機能の充実	担任は「個別の教育支援計画」を活用しながら、児童生徒の支援目標や支援の手立てについて、懇談や支援会議で分かりやすく説明や話し合いを行っている。	4.6	4.4	4.2	5.0	4.4	4.4
12	業務改善	適切な勤務時間と職場環境の整備	担任や特別支援教育コーディネーター等は、お子様の生活や学習などについて相談しやすい。	4.5	4.4	4.0	4.8	4.3	4.3
13		業務改善	学校は、緊急時の連絡等にICTを活用したり、学校設置電話の対応時間の案内や学校閉庁日の設定等をホームページ等で周知したりして、働き方改革に努めている。	4.4	4.4	4.2	4.5	4.3	4.3

令和5年度 保護者アンケート結果

